



# 議会質問

2017年  
6月26日

6月議会一般質問より抜粋

## 本市の二次救急医療機関の医師・医療体制は万全なのか。 究極的には松山市立の総合病院設立が必要ではないか。

### 質問1

本市の夜間・休日を含む救急医療体制は、家庭で対処できない状況、状態に対する応急診療を「一次救急」とし、入院・手術が必要な患者や、事故・急なケガの診療を「二次救急医療機関」として、14の病院が救急病院として告示されていますが、その病院の規模により救急病院を定める省令を満たすに常に、十分な体制ができるかと言えば、医師や看護師の不足など将来に向かって大きな課題が残るのではないかでしょうか。

本市は、医療法に基づき、市内全ての病院を対象に原則年一回の立ち入り検査を実施していますが、2016年度の立ち入り検査において、直近1年以内に医師合計数が医師必要数を満たさなかった月のある、「二次救急医療機関はなかったのか。根拠のあるデータとともに明らかにしてください。

### 質問2

救急病院でありながら、常勤医師数が一般病院の医師必要数以下の病院が14病院中、実に5病院もあります。アルバイト医師の常勤医師数換算で数的には一般病院の医師必要数をカバーしているとは言え、救急病院等を定める省令第1条第1項にある「救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が、常時診療に従事していること」という救急病院としての必要条件を考えれば、一般病院としての医師必要数がアルバイトの医師を加えてぎりぎりなのに、市民の命を預ける救急病院としての役割が果たせるのか非常に不安に思うのは私だけでしょうか。

常勤医師の十分な確保を含め科学的で適正な医療環境を確保するため、本市としての改善策をお示しください。

### 質問3

本市は人口で四国最大の都市でありながら、これまで医療面での市民サービスを他力本願で行つてきたことが、本市の医療環境をコントロールできない最大の原因ではないでしょうか。

「市民の命を守る」という行政最大の使命を直接果たし、超高齢社会の安心な医療環境確保のためにも、早急に市立の総合病院設立に向けて、議論を始めるべきだと考えますが、野志市長の市民に胸を張れる所見を求めていきます。

### 野志松山市長の答弁

本市は新たに松山市立の病院を設立する必要はなく、その考え方もありません。

## 本市職員が心身ともに健康で職務に従事できる配慮について

### 質問4

2015年の10月、環境部廃棄物対策課の業務に関する取扱事件に絡み、産業経済部の現職職員が逮捕されたその翌朝、事件当時の上司であった廃棄物対策課長が自殺をするという、痛ましい事故がありました。

①一人の本市職員が事件発覚直後に自殺をしたその翌朝、事件当時の上司であつた廃棄物対策課長が自殺をするという、痛ましい事故がありました。「自殺と事件の関連はないものと考えている」と答弁していますが、どうならば自殺の原因は何だったのか。  
②事件発覚後の12月議会において市長は、「自殺と事件の関連はないものと考えている」と答弁していますが、どうならば自殺の原因は何だったのか。  
③松山市自殺対策基本条例第2条(市の責務)、特に第3項の「市は自殺対策の担い手である市職員等が心身ともに健康で職務に従事できるよう配慮しなければならない」という条文に抵触しないか。  
④「仕事に悩み自殺した」と結論付けるならば、労災認定の申請をするべきではないかと思いますが、以上4点について、ご答弁ください。

総務部長の答弁  
は、業務に関連度の負荷がかかつていて、仕事に悩んでいたということも確認できませんでした。

### 質問5

昨年(2016年)末に産業経済部観光国際交流課で、幹部職員の収賄容疑に絡み、複数の職員が警察から事情聴取を受けたと関係者から聞いた。

①警察から事情聴取を受けた職員の人数は何人で、どういう内容だったのかを含め詳しく経過説明を求めてます。また野志市長は、なぜ今まで発表していないのか。  
②期を同じくして、警察から事情聴取を受けたとされる当時の観光国際交流課長が、定年を7年も前にして突然自主退職したと聞きましたが、事件との関わりがあったのか。  
③結果として警察の逮捕がなかったので、事件にはならなかつたという幹部職員の話だが、一般職員の間では、明らかに幾つも公務員倫理に反する行為があつたと疑われており、それを解明することなく、もみ消してしまっては、眞面目な職員の健全な職場環境を乱すもので、絶対に許されません。

二度と同じ過ちを犯さないためにも、何があつたのか全て明らかにしてください。

### 産業経済部長の答弁

職員の人数などについてですが、その様な事実については承知していません。次に、当時の課長の退職は「一身上の都合によるものです。最後に公務員倫理に反する行為について松山市立の病院を設立する必要はなく、その考え方も承知していません。



2017年6月議会も一般質問と討論で3度登壇しました。  
(本議会全定例会 7年間29議会連続登壇:記録更新中)

